

森のおくりもの10月



チシオタケ（ラッシタケ科）



写真：菊池正行

10月に入り、たくさんのクリが落ち本格的な秋が感じられるようになりました。また、例年になく、いろいろなキノコもでてきており、秋の恵みでいっぱいです。残念ながら、ここ観察の森では、すべて採取禁止としております。特にクリやドングリは野生動物の餌として重要で、これらが少なくなると冬越しができずに死んでしまうことも考えられます。また、キノコについても、植物や昆虫などとの自然とのバランスで重要な役割を担っており、この点をご理解の上、採取禁止にご協力をお願いいたします。 【館長 菊池正行】

+秋一番にわたってくる冬鳥+
ジョウビタキ



冬鳥*の中で、いつもトップバッターで姿を見せてくれる「ジョウビタキ」。住宅地や公園でも見かけられる、身近な鳥の一つで、目立つところにとまって鳴いてくれるので、観察もしやすい野鳥です。そろそろやってくる季節ですよ。

なわばり宣言

日本にいる間も食べ物を捕るために必要なテリトリーがあり、オスもメスもそれぞれに縄張りを主張し、けんかをします。ミラーに写った自分にまで攻撃を仕掛ける姿を見ると、面白くて見入ってしまいますが、本人は真剣ですから笑っちゃいけませんよ。



ひっひっひっ
かっかっ

「ひっひっ」は、自転車のブレーキのような音で遠くまで聞こえる。また、ルリビタキの鳴き声にも似ている。「かっかっ」の音が、火打石を打ち合わせる音に似ているところから「ヒタキ」と名がついたとされる。

■頭

灰色頭に黒い顔はオス。メスの頭・顔は茶褐色で、顔は黒くなりません。

■翅

黒い翅に白い紋がついているところから「紋付鳥」とも呼ばれる

■尾

よくピクピクと振る



【体長：約14cm】

何を食べるの？

●昆虫

チョウの蛹も

●クモ

●木の実

大きめの種はその場で吐き出す

10月ごろシベリアなどから日本に渡ってきて4月ごろにまた、旅立って帰っていくのですが、最近では、北海道や、長野県、岡山県などで繁殖例が確認されています。この先もしかしたら、冬鳥から漂鳥*に変わるかもしれませんね。

色が鮮やかで、細身なので、スズメよりも大きく思われますが、スズメと同じぐらいの小さな鳥です。

【レンジャー：黒川周子】

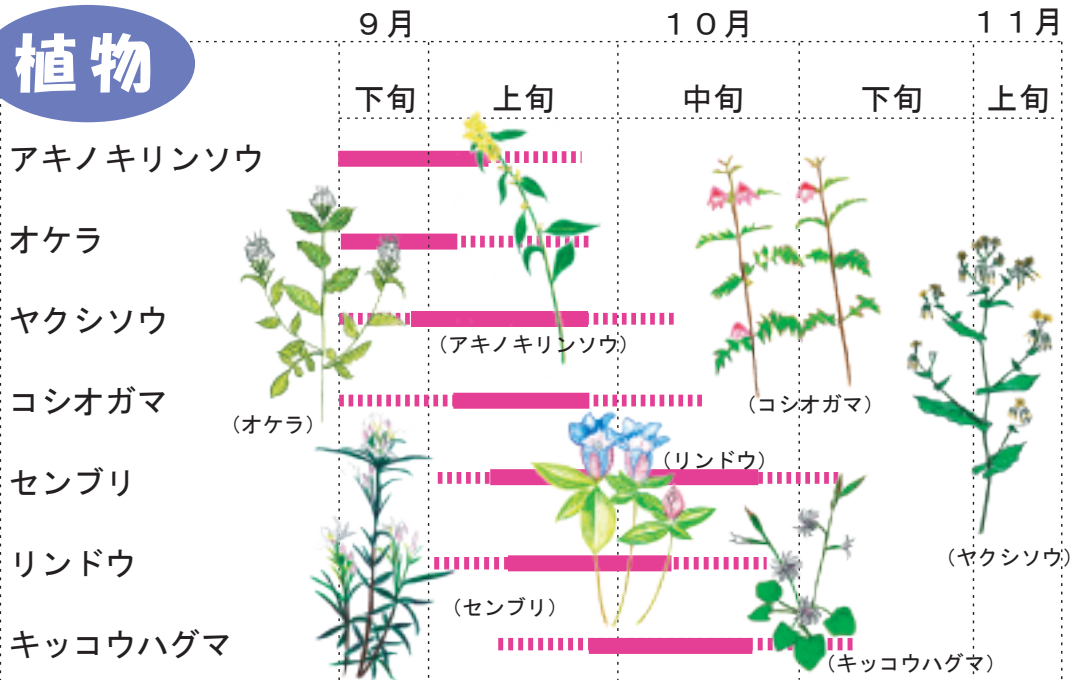
* 漂鳥…繁殖地と越冬地を区別して、日本国内を季節移動する鳥のことです。

* 冬鳥…越冬の為に日本より北の国から渡ってきて日本で冬を過ごし、冬が終わると再び繁殖の為に北の国へ渡っていく鳥。

* ジョウビタキは「尉鷓」と書き、「尉（じょう）」は銀髪を意味する。

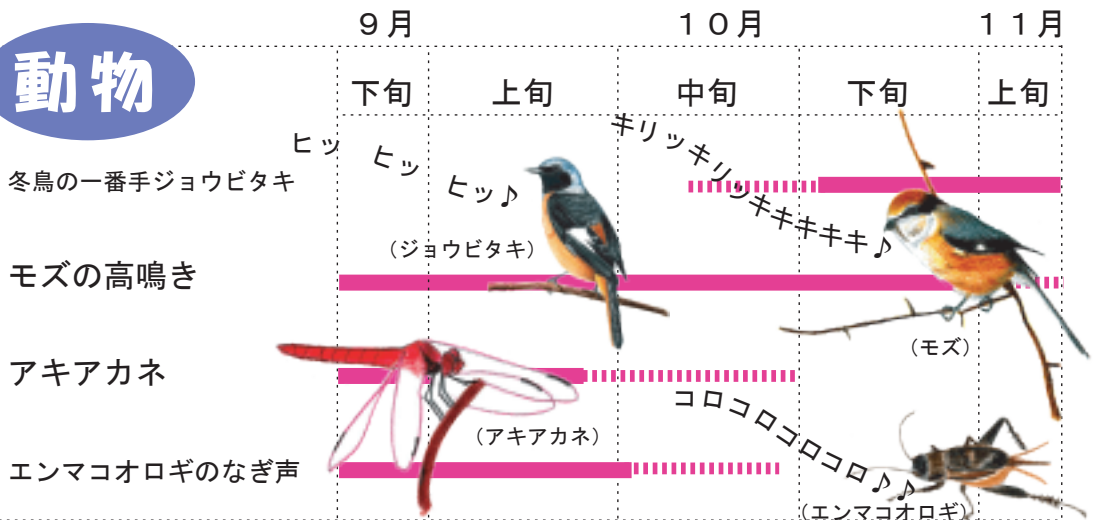
10月の生物ごよみ

植物



暑かった夏も気が付けばセミの声は聞こえなくなり、コオロギやカンタンなどの秋の鳴く虫たちにバトンタッチしていました。山の木々たちも今年はほとんどが大豊作でたくさんの実が実りました。オニグルミやクリもたくさん落ちていたし、昨年あまり実らなかったエゴノキもいっぱい実をつけました。ヤマガラがせっせとエゴの実を運んでいる姿を見ると秋の訪れを感じます。みなさんは何で秋を感じますか？

動物



【レンジャー：齋 正宏】

森で見つけた！

今月のほっけんメモ

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思います。

ほっけんメモ その17 『青色の木の実、草の実』

先月に引き続き、実りの秋の色探し。赤より目立たないので見過ごしがちですが、青色や黒色の実もたくさん実っています。



【サワフタギ（沢蓋木）】

沢沿いに生えることが多く、沢に蓋をするように生い茂ることから名がついたといわれます。

実は明るい青色で光が当たるととてもきれいです。

花は5月の中旬に、白い細かな花卉を開きます。

葉っぱはシロシタホタルガという蛾の幼虫の大好物。

木が丸坊主になってしまうこともあります。



【ミズキ（水木）、クマノミズキ（熊野水木）】

小正月に団子やモチを刺して飾る枝がミズキです。（使う木の種類は地方によって違うそうです。）

実が黒っぽく熟す頃、地面にサンゴのような形をした赤い花枝が落ちてきます。

観察の森にはクマノミズキも生えています。ミズキとクマノミズキは花も葉も実もよく似ていますが花の時期が異なります。ミズキのほうが早く5月下旬から6月上旬、クマノミズキは7月上旬です。

【ナツハゼ（夏櫨）】

ツツジの中間の落葉低木で、黒っぽい濃い紫色に熟した実は、ブルーベリーに似ていておいしい味です。

初夏には釣鐘型のほんのり赤い黄緑色の小さな花をたくさんつけます。

紅葉も赤くきれいです。



【レンジャー：河合 遥】

この他にも森の中では青色の実がたくさん！紹介しきれなかったものはぜひ森で探してみてください。観察センターの中では実物や写真を展示していますよ。

新人レンジャーの観察日記

私が太白山自然観察の森に赴任して早いもので半年が経過してしまいました。季節はまだ肌寒かった春から、異例の猛暑だった夏を経てすでに紅葉の季節を迎えようとしています。この職場に就くまでほとんど昆虫に接する機会もなく日常を過ごしてきました。子どもの頃はよく虫たちと遊んでもらったのですが、いつのまにか彼らと遊ぶ機会は失われていたようです。子どもの頃は全く平気で触っていた虫たちもいまでは恐るおそる触るような有様でした。そんな時に草むらでコオロギを捕まえた時のことです。握った手のひらの中で動き回るくすぐったい感触で、自分が子どもの頃に虫の中でコオロギがもっとも好きだったことを思い出しました。海洋生物学者のレイチェル・カーソンはその著書の中で、大人になってしまうと自然界の神秘さや不思議さに目を見張る感性が急速に失われる可能性を示唆しています。そして子どもにとって、知ることは感じることの半分も重要でないとも語っています。コオロギの手の中のコチョコチョコとしたくすぐったさは、ひよっとするとカーソンが伝えた感じることの大切さを教えてくれたのかもしれませんが。自然が神秘性と不思議さを包容した世界であることを大人になって再認識したような気がします。



【センター前にいたコオロギみ】

そして、コオロギのコロコロコロリ～という鳴き声は、聴く人の心に癒しの効果をもたらしているのかもしれませんが。秋の鳴く虫たちの中では高音で鳴く虫がいたり、低く小さく鳴く虫もいて、コオロギ以外にもいろいろな虫の協奏曲を聴くことができます。私達の現実的な日常の周りは音で溢れています。ですがそのほとんどは人工的なサウンドではないでしょうか？たまにはTVやPCを消して外へ出て、秋の夜長にコオロギの鳴き声をじっくり聞いてみるのもいいのかもしれませんが。

【レンジャー：阿部 正明】

10月のイベント&お知らせ

①きのこ観察会

【日 時】10月17日(土)
10:00～11:30

【持ち物】歩きやすい服装、雨具(カッパ)
【申込み】10月6日(火)9:00から
電話受付〔先着20名〕

②太白山の秋をたずねて

【日 時】10月24日(土)
10:00～15:00

【持ち物】歩きやすい服と靴、昼食、飲み物、雨具(カッパ)
【申込み】10月7日(水)9:00から
電話受付〔先着20名〕

③秋色の絵手紙教室

【日 時】10月31日(土)
10:30～12:00

少し遅め、
のんびり
スタート!

【持ち物】動きやすい服装、雨具(カッパ)
【申込み】10月9日(金)9:00から
電話受付〔先着15名〕

④草木染め体験～メリケンカルカヤ編～

【日 時】11月3日(火・文化の日)
10:00～15:00

【定 員】10名
【持ち物】動きやすい服装、軍手、ゴム手袋、雨具(カッパ)、昼食、飲み物、(エプロンなどの汚れても良い服があると便利です。)
【申込み】電子メールか往復はがきで
10月20日(火)必着〔抽選〕
【費用】500円(1人1作品)

⑤森とキノコの不思議観察会

【日 時】11月7日(土)
10:00～11:30

【持ち物】歩きやすい服装、雨具(カッパ)
★事前申込み不要★
当日観察センターで受付します。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

10月の開催日
4日、11日、18日、25日

開催時間:午前 10:00～11:30
午後 13:30～15:00

◎25日の午後は、自然観察センター館長がご案内します。
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼント
があるよ!!

イベント申込用



10月の休館日
5日、13日、
19日、26日

♪森へおいでください♪



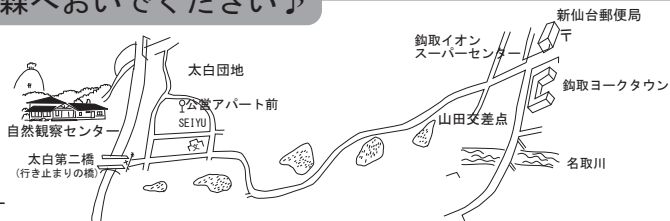
宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



スタッフBLOG開始しました!
自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2015年10月号(毎月1回5日発行)
発行:(公財)仙台市公園緑地協会
編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133
E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp